2021年3月31日号【市政報告】

こんにちは 日本共産党
横浜市会議員 週刊ニュース

宇佐美 さやか です

日本共産党神奈川区事務所
横浜市神奈川区西神奈川3-2-17
電話：045-491-6843
FAX：045-491-6892
http://www.usami-sayaka.jp//

2021年第一回横浜市会が閉会

カジノ推進の本予算案 立憲民主が日本共産党とともに反対

２月１日から開催されていた横浜市会第１回定例会は、３月23日、林市長提出の一般会計予算案をはじめとした予算関連議案と一般議案すべてが自民、公明などの賛成多数で可決し閉会しました。

今議会は、コロナ感染症拡大第3波の渦中、菅政権誕生後初の予算議会であり、市政と市議会の立ち位置と存在意義が鋭く問われました。また、年明けの臨時議会でカジノの是非を問う住民投票条例案が自公によって葬られ、それを受けて市長が事業者募集に踏み出すというIRカジノを巡る緊迫した情勢の下での開催であり、議会の論戦に大きな関心と注目が寄せられました。

立憲・無所属フォーラムは、カジノ誘致反対の立場から一般会計予算案に反対、夏の市長選挙にむけた条件のベースが築かれました。

党市議団は議会中、主に下記の問題点について徹底追及し、改善を迫りました。

党市議団の主な論戦内容

①PCR検査に対する施策は、国・県まかせではダメ。

②コロナ禍のなか国民健康保険料の連続値上げ介護保険料・水道料金の値上げストップを。

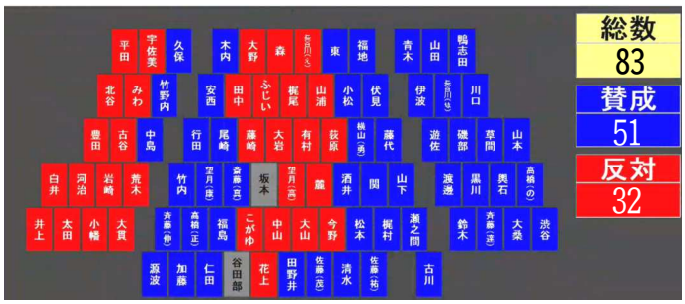
③事業効果をデータで示さないままのIRカジノ事業者の募集と採算も見込めない上瀬谷開発を徹底批判。

④選択制のデリバリー給食「唯一論」を振りかざす市長に全員喫食型の中学校給食めざせと迫る。

⑤菅政権いいなりの市政には正面対決 市民要望実現に全力。

・デジタル統括本部新設のリスクを告発。採算見込めないテーマパーク予定地をつなぐ上瀬谷ラインの中止を要求。介護施設等の人手不足解消策訴える。生保申請者追い返し対応の徹底改善。北綱島特別支援学校を「学校」に戻すよう迫る。市防災計画を被害想定が大きい「大正型地震」に対応できるものに見直すよう要求。金沢区などで住民運動となっている市営バス路線の廃止・減便やめての声に寄り添い住民の足を守れと主張など。

カジノ推進含む本予算案への各議員の態度



23日に登壇した宇佐美（左）大貫（中）かわじ議員（右）

予算組み替え動議、反対討論 …市民要望実現に力を尽くす

23日の最終日、党市議団は、コロナ対策に力点を置いた予算にするよう予算組み替え動議を行い、その趣旨説明に宇佐美さやか議員が登壇。しかし、採決の結果、賛成少数で否決されました。

その後、市長提出の予算案の反対討論に大貫憲夫議員が登壇。「将来性のなくなったカジノ誘致、巨大テーマパーク誘致を核とする旧上瀬谷通信施設跡地の開発にしがみついている」「コロナ禍を経験し、そこから新たな教訓を引き出そうとしない林市政そのものが市民にとって不幸だ」と述べ、林市政そのものの転換が必要だと強調しました。

また、追加議案とカジノ関連予算の削減を求める請願などの不採択に対する反対討論を河治民夫議員が行いました。組み替え動議の内容などは、党市議団ホームページに全文を掲載しています。ぜひご覧ください。